

新しい時代 新文化運動と哲学

四、人類救援と生命の光

聖書論の信仰について

聖書論の中から象徴的言葉の全体は靈の言葉であり、靈の言葉であるから人間の心を描いた言葉なのである。

もう一つ、默示録には“山や、海や、木やを害してはならぬ！”という句節がある。これを神学者たちは解釈できず、いるのである。解釈できないのはまだよいとしても、どんでもない解釈をして、惑世誣民すら辞さないでいるのである。

“山”“海”“木”は、みんな人間の心を指している言葉である。泰山の如き恩恵を受けた心、海の如き恩恵を受けた心、既に恩恵を受け木の如くなつた義人を指して、山や、海や、木や、と象徴化して表現したものである。

天声神語：聖書の御言葉は全て靈的な言葉である。

聖書には信仰に就いていろいろと論じている。芥子種一粒ほどの信仰があれば、この山に向かって「彼處に移れ」といえば移るであろう」ということは、信仰の能力を言っているのである。

この「山」と言っているのはこの世の山ではなく、靈的、即ち心の山を指しており、心の泰山のごとき罪惡を言っているのである。

人間の心において、第一に高い“山”的如きものが“我”という意識である。“我”的意識はまさに罪惡の山であり、欲望の山である。この山の如き罪惡を彼處に移すと言っているから、芥子種一粒ほどの信仰があつても、心の泰山の如き罪惡を減する能力があるので

といった意味である。

また、心は望むものの実相であり、見えないものの証拠だと言っているが、これは、信仰さえあれば望むとおりになり、見えないものが見えるようにしてくれるのが、信仰だと言つてある。だから、見られなかつた天国と、見られなかつた地獄を見られるようになつてくられることが信仰であり、望み願う永生をなすようになつてくられることが信仰である。

人間の望みが永生だが、望むとおり永生できないのは信仰がなかつたからである。

いままでは信仰がなかつたから、永生がなかつたから、心もなかつた。そして、聖書でも“信する者を見ることがなかつた”と言つているのである。

エベソ書二章八節によれば、信仰は“神の賜物なり”と言つており、神の賜物は即ち、神の恩恵であり、神が人間に与える恩恵は即ち、信仰なので、神が人間に与える恩恵とは、人間の最も願うことをなさしめていることが恩恵であるから、パウロが言つたように、“望むことの実相”が即ち、永生の恩恵であるのだ。

死なずに永遠に生きることが人間の望みであり、不幸でなく幸福に暮らすことが人間の望みであるから、人間を幸福に、死なずにしてあげることが即ち、恩恵であり、信仰である。

だから、信仰とは無条件に誰を“信じる”という文字的意味の信仰とは距離が遠いということを聖書は、このようにいろいろな側面から語つたのである。

罪の償いは死亡であり、罪の償いは地獄であるので、罪の中で暮らして死んでゆくしかない人間を死なないよ

うしてくれることが、即ち信仰であるから、信仰は人間が死ぬ原因を除去してあけてこそ、眞の信仰になるのである。

死の原因は罪であり、老いの原因も罪にあるので、信仰は罪を除去してくれる事である。罪とは、まさに惡の心であるから、悪い心を除去してくれる

のが信仰である。悪い心は慾心から出るが“我”という意識から慾心が起きる基であるから、惡魔の靈である“我”的意識を除去する能力が即ち、信仰である。

従つて、信仰は“我”という存在魔鬼を殺す能力である。

いままで、神が人間の中で六千年前

を悪魔と闘つてきたが、悪魔を殺す能

力を持っていなかつたのだ。

ようやく一九八〇年十月十五日、天神の神が世界永生学会総裁の方の中に存在していった悪魔を殺し占領したから、勝利者としての神になられ、悪魔殺しの「勝利した神」の能力をもたれるようになったのである。

いまや、その方の中にいた悪魔を殺し、神が勝利したので、悪魔に勝つた神が、まさに信仰である。その故に、聖書論的に信仰の真義は悪魔に打ち勝った神様の聖靈を言う象徴的用語である。

そして、悪魔に勝つた心があるから、罪に勝つたし、罪に勝つたから、死亡の靈に勝つたのである。死亡権勢に勝つたから永生を得たのであり、永生を得たから、望んでいたことの実相が、ここで成就するようになったのである。

3. 善惡果論

人間は生命の神と死亡の神の共存体

神は永遠な生命の存在であるが、惡魔は生命に敵対する死亡の存在である。

聖書は生命の神と、死亡の神との長い戦争に関して記録している。人類の心の中には、いまも、その戦争が絶えず起きている。善と悪との闘い、良心の心と自我意識との闘いの中で、シーソーに乗つているのが人間の心であるからである。従つて、聖書は人間の心の闘いに関する記録である。

天声神語

聖書には、最初の人間をアダムとエバだとしているが、かれらは楽園のようなエデンの園で暮らしていたが、禁じられていた善惡を知る実を食べたので、死ぬしかない哀れな人生に転落してしまつたと言われる。もし、アダムとエバが善惡果を食べていなかつたとしたなら、彼らは、いまもエデンの園で幸福に暮らしているはずであろう。なのに、彼らはサタンの魅惑に負けて善惡果を食べてしまつたのである。

ところが、善惡果を食べる前のアダムとエバは何も知らない馬鹿だったかといえば、そうではない。かれらは神の形をしていたと記録されている。神の形をしていたということは、即ち、神の心が充満していたと言うことで、神と同じだということであり、アダムとエバがまさに神だったのである。

アダムとエバは神の心が満たされ

ていたので、神の善なる心のみが充満

していたのだ。聖書で“善なる”ということは即ち、神の心を指して善だと表現したのである。

従つて、アダムとエバには神の善なる心のみが充満していたので、彼らが善なることは知らぬはずがない。ところが、彼らが善惡果を食べた結果、善と惡を知るようになったと言われ、これは即ち、善惡果に因り惡を余計知るようになったという話である。だから、

善惡果は惡を知る心、惡を知る心は悪なる心、惡なる心は惡なる靈であり、惡の靈は余りにも純粹な状態にあったので、神

と同じく模倣した惡魔を見た瞬間、そのままその靈が占領し入ってきたのである。そういうことで聖なる神の靈は、惡魔の捕虜になったのである。

本来、聖なる天神は男性でも女性でもない中性的な存在であったが、二元的な惡魔に占領されたことによって、惡魔の両性的な姿を着ることになったのである。

そういうわけで、今の惡魔の靈獄に捕らわれていた人間が、再び神の靈に戻るために、惡魔の姿である男子と女子の性品を脱いで、中性的な本来の性品に戻らなければならないのである。これは無極大道の出現を意味しているのだ。

男子は女子を意識することなく、女子は男子を意識することのない即ち、淫乱の情欲を完全に超越してこそ、聖なる神を回復することができるのである。*

次の号に引き続き掲載
Subaru Kan / 新人類文化研究所長

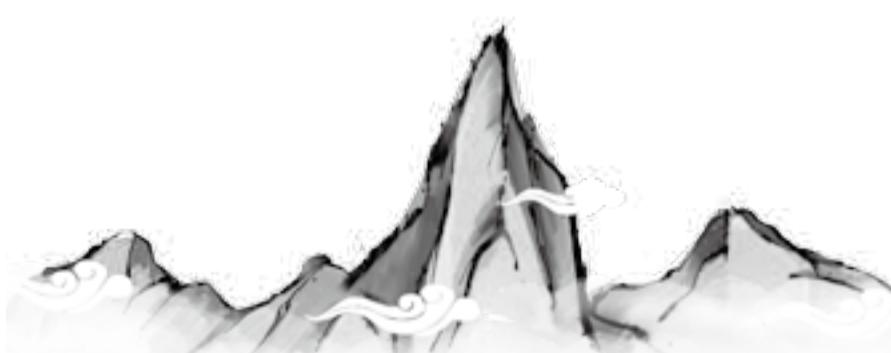
だから、アダムとエバと神は別々に

격암유록 新 해설
수정판 제 18회

정도령의 십승촌을 나가면 죽을 것이요 들어가면 영생하리라

末運論(말운론)

釋迦之運三千年 石가지운삼천년
彌勒出世鄭氏運 미륵출세정씨운
斥儒尙佛西運來 척유상불서운래
天地海印誰何說 천지해인수하설
佛道大師保惠印 불도대사보혜인
天地人三 천지인삼
火印雨印露印 三豐三印
화인우인로인 삼풍삼인
天民擗地三豐之穀 천민택지삼풍지곡
穀種求於三豐也 곡종구어삼풍야
석가지운 삼천 년(정감하는 삼천칠년)
후에 미륵불은 정(鄭)씨(정도령)운으로 세상에 나오신다. 허례허식에 빠진 유교를 배척하고 마음 법을 중히 여기는 미륵불을 중상하게 되니 이는 미륵불이 금운을 타고 오심이라. 천지간에 무궁한 조화를 지어내는 해인을 누가 말했던가? 불도의 큰 스승이신 미륵불의 보혜인(保惠印)이요 천지인 삼수(三數)에 응한 화인(火印), 우인(雨印), 로인(露印)의 삼풍 삼인이다. 하늘백성이 택한 땅에 삼풍의 곡식이 있으니 곡식 종자는 삼풍에서 구하느니라.



龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

진사(용사=진사)의 성인은 죄 없는 옥고를 면치 못하는데 만약 이를 참지 못하여 옥을 부수고 나오면 천지가 혼돈하여 하늘에서 불이 날아와 땅에 떨어지니 여인 한 분(갑자생)은 나오지 못하고 죽으리라. 이운(運)에는 먼저 택한 사람은 실망한나마지 뿐만 아니라 흘러지리라.

鄭堪豫言十處 정감예언십처
地理之上大吉地 지리지상대길지
十處以外小吉 십처외소길

方方谷谷結定地 방방곡곡결정지
不入正穴者死 불입정혈자사

有福之人 或生 유복자인 흑희생
穴下弓身 開門 헬하궁신 손문

弓乙圖用必要矣 궁을도용필요의

天擇弓弓十勝地 천택궁궁십승지
利在弓弓十勝村 리재궁궁십승촌

不利山不近聽 불리산불근불청

天民十勝地 천민십승지
赤蓮蔽日火烟蔽月 적운폐일화연폐월

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此運時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄出時 불인쇄옥출시
天地混沌飛火落地 천지혼돈비화락지
鼠女隱日三床後臥 서여온일삼상후와
先擇失散此운時 선택실산차운시

龍蛇之人不免獄 용사지인불면옥
不忽碎獄